

全国月間火山概況（平成 27 年 4 月）

御嶽山の火山活動は低下してきており、2014 年 9 月 27 日と同程度、またはそれを上回る規模の噴火が発生する可能性は低くなっています。一方、火口列からの噴煙活動や地震活動が継続していることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。新たな火口列の中心から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石と火砕流に警戒してください。これに加えて南西側（地獄谷方向）では火口から概ね 2.5 km まで火砕流に警戒してください。

桜島では、爆発的噴火が 112 回発生するなど活発な噴火活動が継続しました。

火山性地震は、3 月 31 日から 4 月 2 日にかけて一時的にやや増加しました。

桜島島内の伸縮計では、1 月 1 日頃から山体の膨張と考えられる変化が継続しています。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

口永良部島では、噴火は発生しませんでした。火山性地震が時々発生し、火山ガスの放出量が多い状態で経過しています。また、夜間に高感度カメラで火映を時々観測したほか、現地調査では、新岳火口の西側割れ目付近の熱異常域内で温度の上昇が認められています。以上のように火山活動の高まりがみられており、今後、爆発力が強い噴火や規模の大きな噴火に移行する可能性があります。新岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒してください。

西之島では、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続しています。今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられます。また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石や、水面を高速で広がるベースサージ等の影響が概ね 2 km の範囲に及ぶおそれがありますので、西之島の中心から概ね 4 km 以内では噴火に警戒してください。

蔵王山では、4 月 7 日以降、御釜付近が震源と推定される火山性地震が増加し、火山性微動が発生するなど火山活動が活発となりました。今後、小規模な噴火が発生する可能性があることから、13 日 13 時 30 分に火口周辺警報を発表し、噴火予報（平常）から火口周辺警報（火口周辺危険）に引き上げました。想定火口域（馬の背カルデラ）から概ね 1.2 km の範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

吾妻山では、大穴火口からの噴気活動がやや活発な状態が継続しています。大穴火口から概ね 500 m の範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

草津白根山では、湯釜付近の膨張を示す地殻変動が認められるほか、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられています。湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

箱根山では、4 月 26 日から大涌谷付近を震源とする火山性地震が増加しており、5 月 5 日には箱根町湯本で震度 1 を観測する地震が 3 回発生しました。また、気象庁と神奈川県温泉地学研究所の傾斜計による地殻変動観測及び湯河原鍛冶屋の体積ひずみ計では、今回の火山活動に関連するとみられる変動が観測されています。4 日（神奈川県温泉地学研究所と共同で実施）及び 5 日に実施した現地調査では、大涌谷温泉供給施設で蒸気が勢いよく噴出しているのを確認しました。これらのことから、箱根山では火山活動が更に高まっていると考えられ、今後、大涌谷周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がある判断し、6 日 06 時 00 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げました。大涌谷周辺では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

阿蘇山では、中岳第一火口で、断続的に噴火が発生しています。5 月 3 日 22 時 04 分に継続時間約 5 分間の振幅の大きな火山性微動が発生し、南阿蘇村中松で震度 1 を観測しました。5 月 8 日 12 時 58 分に、中岳第一火口付近のごく浅い所を震源とする地震が発生し、南阿蘇村中松で震度 3 を観測しました。地震の前後で噴煙や地殻変動の状況に特段の変化は認められませんでした。

中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（新燃岳）では、3 月下旬以降、新燃岳火口直下を震源とする火山性地震がやや増加しました。北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013 年 12 月頃から伸びの傾向がみられていましたが、2015 年 1 月頃から停滞しています。火口から概ね 1 km の範囲では、

噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

諏訪之瀬島の御岳火口では、爆発的噴火が2回発生するなど、活発な火山活動が継続しました。火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）の火山活動は低下しており、硫黄山周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、5月1日10時00分に噴火予報を発表し、火口周辺警報（火口周辺危険）から噴火予報（平常）に引き下げました。

表1 5月13日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	御嶽山、桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	吾妻山、草津白根山、箱根山、三宅島、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	蔵王山、硫黄山※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、安達太良山、磐梯山、那須岳、浅間山、新潟焼山、焼岳、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄山
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌプリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、霧島山（新燃岳、御鉢以外）、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、警報・予報事項に変更はありません。

雌阿寒岳[噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

15日から18日にかけて、ポンマチネシリ火口付近の浅い所を震源とする規模の小さな地震が増加しましたが、噴煙の状況や地殻変動に特段の変化はありませんでした。

全磁力連続観測によると、ポンマチネシリ 96-1 火口南側の地下では、2015年3月中旬以降温度が上昇している可能性が考えられます。今後の火山活動の推移に注意してください。

十勝岳[噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

4日から7日にかけて火山性地震が一時的に増加しましたが、9日及び13日に実施した上空からの観測（北海道、国土交通省北海道開発局の協力による）では、62-2火口や大正火口及びその他の火口に特段の変化はなく、9日に実施した現地調査においても火山ガスの放出量に変化はありませんでした。

ここ数年、山体浅部の膨張や大正火口の噴煙量及び地震回数の増加、火山性微動の発生、発光現象などが観測されており、長期的にみると十勝岳の火山活動は高まる傾向にありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

蔵王山[火口周辺警報（火口周辺危険）←13日に噴火予報（平常）から引き上げ]

7日以降、御釜付近が震源と推定される微小な火山性地震が増加し、火山性微動が発生するなど火山活動が活発となりました。今後、小規模な噴火が発生する可能性があることから、13日13時30分に火口周辺警報を発表し、噴火予報（平常）から火口周辺警報（火口周辺危険）に引き上げました。4月の火山性地震の回数は319回と2010年9月の観測開始以降最多となりました。また、継続時間が短く、規模の小さな火山性微動が4回発生しました。

想定火口域（馬の背カルデラ）から概ね1.2kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

吾妻山[火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いています。

16日に実施した現地調査では、3月16日に新たに確認した大穴火口外の北西側の弱い噴気があった領域で、噴気や地熱域は認められませんでした。2013年以降拡大がみられている地熱域を引き続き確認しました。大穴火口直下付近の浅い所と推定される火山性地震は30回発生し、前期間（81回）に比べて減少しました。

浄土平の傾斜計では、2014年4月以降、緩やかな西側上がりの変動が継続しています。

GNSS¹⁾ 連続観測では、2014年9月頃から一切経山南山腹観測点に関係する基線で緩やかな変化がみられており、一切経山付近の膨張を示唆すると考えられます。

大穴火口から概ね500mの範囲では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。

草津白根山[火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

2014年3月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が、消長を繰り返しながら多い状態が続いていましたが、8月20日以降やや少ない状態で経過しています。2015年1月以降は一時的な火山性地震の増加もみられています。地殻変動観測によると湯釜付近の膨張を示す変動が認められています。東京工業大学によると、北側噴気地帯のガス成分にも活動活発化を示す変化がみられています。また、全磁力観測による5月以降の湯釜近傍地下の温度上昇を示すと考えられる変化は、7月以降停滞しています。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側で火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺のくぼ地や谷などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがありますので、注意してください。

御嶽山[火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

御嶽山の火山活動は低下してきており、2014年9月27日と同程度、またはそれを上回る規模の噴火が発生する可能性は低くなっています。一方、火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

火口列からの噴煙は、白色で火口縁上200~900mで経過しています。

火山性地震は少ない状態で経過していますが、2014年8月以前の状況には戻っていません。13日20時07分に2014年9月27日の噴火発生時以降で最大規模の火山性地震が発生しました。また、10日には低周波地震を1回観測しています。低周波地震を観測したのは2月23日以来です。これらの地震の発生時及びその前後で、噴煙や地殻変動の観測データに火山活動の高まりを示す変化はみられていません。

新たな火口列の中心から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石と火砕流に警戒してください。これに加えて南西側(地獄谷方向)では火口から概ね2.5kmまで火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流の可能性があるので注意してください。

箱根山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

←5月6日に噴火警戒レベルを1(平常)から2(火口周辺規制)に引き上げ

4月26日から大涌谷付近を震源とする火山性地震が増加しており、5月5日には箱根町湯本で震度1を観測する地震が3回発生しました。また、気象庁と神奈川県温泉地学研究所の傾斜計による地殻変動観測及び湯河原鍛冶屋の体積ひずみ計では、今回の火山活動に関連するとみられる変動が観測されています。4日(神奈川県温泉地学研究所と共同で実施)及び5日に実施した現地調査では、大涌谷温泉供給施設で蒸気が勢いよく噴出しているのを確認しました。これらのことから、箱根山では火山活動が更に高まっていると考えられ、今後、大涌谷周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がある判断し、6日06時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1(平常)から2(火口周辺規制)に引き上げました。

6日に実施した上空からの観測(神奈川県警察本部地域部地域総務課航空隊(神奈川県警察ヘリコプター)の協力による)及び8日に実施した現地調査では、引き続き大涌谷温泉供給施設で蒸気が勢いよく噴出しているのを確認しました。

10日には箱根町湯本で震度1以上を観測する地震が6回発生し、今期間の最大規模(M3.0)の地震を観測するなど、火山性地震の多い状態が継続しています。国土地理院のGNSS¹⁾連続観測によると、箱根山を挟む基線で、4月下旬からわずかな伸びがみられます。

大涌谷周辺では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、風下側では火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため、注意してください。

三宅島[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2013年2月以降はやや少量となっています。

三宅村によると、山麓ではまれにやや高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

火山性地震は少ない状態で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

GNSS¹⁾連続観測によると、2000年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、2013年頃から停滞しています。島の長距離の基線で2006年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続しています。

火口周辺(雄山環状線内側)に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性は低くなっていますが、噴煙活動は続いており火口近傍に火山灰等が噴出する可能性はあります。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに警戒してください。

西之島[火口周辺警報(入山危険)及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁等の観測によると、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続し、新たな陸地の拡大が続いています。

22日に海上自衛隊が、23日と27日に海上保安庁が上空からの観測を実施し、第7火口での噴火活動の継続を確認しました。

27日の観測では、第7火口で断続的な噴火が継続していました。噴煙は白色で、噴煙高度約450mで南西方向へ流れていました。火砕丘北東斜面に形成された1ヶ所の溶岩流出口から溶岩が流出し、火砕

丘北側に溶岩原を形成していました。溶岩原の北東端では溶岩トンネルを経由して1条の溶岩流が北東方向に流下し、海岸線に達していました。

西之島及び新たな陸地には、津波を発生させる恐れのある断層やクラックは認められませんでした。

変色水域は、北側海岸線に薄い黄緑色で幅約200~300mに分布していました。西之島南海丘付近海域に変色水等の特異事象は認められませんでした。

西之島では、今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられます。また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石や水面を高速で広がるベースサージ等の影響が概ね2kmの範囲に及ぶおそれがあります。

西之島の中心から概ね4km以内の範囲では噴火に警戒してください。

硫黄島[火口周辺警報(火口周辺危険)及び火山現象に関する海上警報]

火山性地震はやや少ない状態で経過しています。24日に継続時間が70秒の火山性微動が発生しました。GNSS¹⁾連続観測によると、地殻変動は2014年2月下旬頃から隆起・停滞を繰り返し2015年1月中旬頃から、隆起速度が上がっていましたが、2月上旬頃から鈍化しています。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。このことから火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生している地点(ミリオンダラーホール(旧噴火口)等)及びその周辺では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場[噴火警報(周辺海域)及び火山現象に関する海上警報]

14日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、福徳岡ノ場付近の海面で火山活動によるとみられる変色水等は認められていません。

福徳岡ノ場では長期にわたり火山活動によるとみられる変色水や浮遊物が確認されており、2010年2月3日には小規模な海底噴火が発生しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に警戒してください。

阿蘇山[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

中岳第一火口では、断続的に噴火が発生しています。23、24及び26日には、灰白色の噴煙が火口縁上1,500mまで上がりました。噴火に伴い、熊本県、大分県、宮崎県の一部の地域で降灰があったと推定されます。

二酸化硫黄の放出量は1日あたり1,500トン(3月:800~3,700)と多い状態で経過しました。

火山性微動は、概ね振幅の大きな状態で継続し、噴火に伴う空振を時々観測しました。

5月3日22時04分に、継続時間約5分間の振幅の大きな火山性微動が発生し、南阿蘇村中松で震度1を観測しました。3日の火山性微動発生後に実施した5日の現地調査では、中岳第一火口内の141火口の南側が陥没していることを確認しました。

5月8日12時58分に、中岳第一火口付近のごく浅い所を震源とする地震が発生し、南阿蘇村中松で震度3を観測しました。地震の前後で噴煙や地殻変動の状況に特段の変化は認められませんでした。

GNSS¹⁾連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線の伸びは、2015年3月頃から停滞しています。

中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。火口周辺では強風時に小さな噴石が1kmを超えて降るため、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石にも注意してください。

霧島山(新燃岳)[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

3月下旬以降、新燃岳火口直下を震源とする火山性地震がやや増加し、月回数は92回(3月:139回)でした。GNSS¹⁾観測によると、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2013年12月頃頃から伸びの傾向が見られていましたが、2015年1月頃から停滞しています。

新燃岳では火口周辺に影響のある小規模な噴火が発生する可能性がありますので、新燃岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では降

灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。 降雨時には、泥流や土石流に注意してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）[噴火予報(平常)]

←5月1日に火口周辺警報（火口周辺危険）から引き下げ

えびの高原（硫黄山）周辺では、2013年12月頃から火山性地震の多い状態が続いていましたが、2015年4月頃から少ない状態となっています。2014年8月20日には、硫黄山付近が震源とみられる火山性微動が発生しましたが、その後は発生していません。GNSS¹⁾ 連続観測では、えびの高原（硫黄山）周辺の一部の基線で、2013年12月頃からみられた地盤の伸びの傾向は、2015年1月頃から停滞しています。

火山活動によると考えられる傾斜変動は認められません。また、噴気は認められず、赤外熱映像装置による観測では熱異常域は認められません。硫黄山周辺の全磁力繰り返し観測でも、地下の熱活動の高まりは認められません。

以上のことから、えびの高原（硫黄山）周辺の火山活動は低下しており、硫黄山周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、5月1日10時00分に噴火予報を発表し、火口周辺警報（火口周辺危険）から噴火予報（平常）に引下げました。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

桜島[火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

昭和火口では、爆発的噴火が112回発生するなど、活発な噴火活動が継続しました。

17日02時49分の爆発的噴火では、弾道を描いて飛散する大きな噴石が3合目（昭和火口より1,300～1,800m）まで達しました。18日05時17分と28日09時40分の爆発的噴火では、ごく小規模な火砕流が発生し、昭和火口の東および南東側へ約500m流下しました。噴煙の高さの最高は、24日09時16分の爆発的噴火による火口縁上4,000mでした。

南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。

火山性地震は、3月31日から4月2日にかけて一時的にやや増加しました。震源は、3月31日に震度1の地震が発生した桜島南西部の海拔下6～10km付近で主に発生したほか、南岳直下の海拔下2～3km付近で発生しました。

桜島島内の傾斜計、伸縮計及びGNSS¹⁾では、2015年1月1日頃から、山体が隆起・膨張する変化が観測されています。今後、2012年7月24日及び2013年8月18日以上の多量の火山灰を噴出する噴火が発生する可能性があります。また、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）を挟むGNSS¹⁾連続観測の基線では、長期的に始良カルデラ深部の膨張を示す伸びの傾向がみられます。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

口永良部島[火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

口永良部島では噴火は発生しませんでした。火山性地震が時々発生し、火山ガスは多い状況で経過しており、火山活動は活発な状態が継続しています。

口永良部島の新岳では、前月に引き続き夜間に高感度カメラで火映を時々観測しました。気象庁機動調査班（JMA-MOT）による現地調査では、引き続き新岳火口の西側割れ目付近及び南西斜面の噴気地帯を確認した他、赤外熱映像装置による観測では、新岳火口の西側割れ目付近の熱異常域内で2015年2月頃から温度の上昇が認められています。

18日に実施した現地調査及び7日から26日に東京大学大学院理学系研究科、京都大学防災研究所及び屋久島町が実施した観測では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり900～2,600トン（3月：1,000～3,700トン）と多い状態で経過しました。

口永良部島では火山活動の高まりがみられており、今後、爆発力が強い噴火や規模の大きな噴火に移行する可能性があります。

新岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。向江浜地区から新岳の南西にかけて、火口から海岸までの範囲では火砕流に警戒してください。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。降雨時には土石流の可能性があります

ので注意してください。

諏訪之瀬島[火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

御岳火口では、爆発的噴火が2回発生するなど、活発な火山活動が継続しました。

諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

(火山の順は活火山総覧(第4版)による)

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（平成27年5月13日現在）

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）
	大雪山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	蔵王山	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	吾妻山	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
磐梯山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）	
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	草津白根山	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	浅間山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	焼岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（平常）	2007年12月1日噴火予報（平常）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	御嶽山	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2008年3月31日噴火予報(レベル1、平常) 2014年9月27日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2014年9月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 切替 2015年1月19日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 切替 2015年3月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 切替
	白山	噴火予報(平常)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	富士山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2009年3月31日噴火予報(レベル1、平常) 2015年5月6日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	伊豆東部火山群	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	新島	噴火予報(平常)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	神津島	噴火予報(平常)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	三宅島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年3月31日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	八丈島	噴火予報(平常)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	青ヶ島	噴火予報(平常)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	西之島	火口周辺警報(入山危険)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2013年11月20日火口周辺警報(火口周辺危険) 2014年6月3日火口周辺警報(入山危険) 2014年6月11日火口周辺警報(入山危険) 切替 2015年2月24日火口周辺警報(入山危険) 切替
	硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日火口周辺警報(火口周辺危険)
	福徳岡ノ場	噴火警報(周辺海域警戒)	2007年12月1日噴火警報(周辺海域警戒)
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	九重山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	阿蘇山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2011年5月16日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年6月20日噴火予報(レベル1、平常) 2013年9月25日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2013年10月11日噴火予報(レベル1、平常) 2013年12月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2014年3月12日噴火予報(レベル1、平常) 2014年8月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	雲仙岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(新燃岳)	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月22日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日噴火予報(レベル1、平常) 2010年3月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月16日噴火予報(レベル1、平常) 2010年5月6日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年1月26日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2011年1月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 切替 2011年2月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 切替 2011年3月22日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 切替 2012年6月26日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 切替 2013年10月22日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	霧島山(御鉢)	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)	噴火予報(平常)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2014年10月24日火口周辺警報(火口周辺危険) 2015年5月1日噴火予報(平常)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年2月20日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年7月14日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年8月28日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月19日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月10日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月24日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2010年9月30日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年10月13日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2012年3月12日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2012年3月21日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替
	薩摩硫黄島	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2012年11月29日噴火予報 (レベル1、平常) 2013年6月4日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2013年7月10日噴火予報 (レベル1、平常)
	口永良部島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日噴火予報 (レベル1、平常) 2008年9月4日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月18日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日噴火予報 (レベル1、平常) 2009年9月27日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日噴火予報 (レベル1、平常) 2011年12月15日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2012年1月20日噴火予報 (レベル1、平常) 2014年8月3日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2014年8月7日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)

注) 警報及び予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

注) (平常)は(活火山であることに留意)に変更する予定です。

(2) その他の活火山

以下の活火山(*印を除く)では平成19年12月1日に噴火予報(平常)を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された平成23年6月7日に噴火予報(平常)を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、バルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山